

高野小学校 創立 150 周年記念集会 12月2日

保護者や地域の皆様がたくさんお集まりいただき、本校の創立 150 周年を記念する集会を開催させていただきました。明治6年の創立から2度の大きな移転を経て、昭和 60 年から現在の高野台にて歴史を積み重ねてきました。この間、地域の皆様に見守られ、たくさんの卒業生が巣立っていかれました。

記念集会では、高野区長会長の岩見昌則様よりご祝辞を頂戴し、児童作文の発表や高学年による合唱発表を行いました。また、PTA 会長の平野雄介様にもご挨拶をいただきました。

最後には、校歌を児童と会場の皆様と一緒に斉唱しました。この校歌の制定は昭和 5 年とされており、この校歌もまた多くの方に歌われてきました。今回の集会では、その歴史の重みや高野地域の自然の雄大さ、人々の温もりが感じられるような歌声が、体育館いっぱいに響き渡りました。

この集会の開催にあたり、ご協力いただいた皆様、また日頃より本校の教育推進に多大なるご理解とご協力をいただいている皆様、そして、これまでの 150 年間の歩みの中で本校にかかわっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

プログラム

- 1 開会挨拶（校長）
- 2 祝辞（高野区長会長様）
- 3 児童作文発表
- 4 高学年発表（リコーダー奏・合唱）
- 5 校歌斉唱
- 6 閉会挨拶（PTA 会長様）



私はこの5年間の小学校生活の中で、毎日長い距離を歩いて、足腰が強くなったと思います。1年生の頃は一人で歩くのが大変で、高学年の人に押してもらってました。2年生になっても、まだ押してもらっていましたが、だんだん慣れてきました。帰る時には、見守り隊の人と一緒に帰り、いろいろな話をしました。折り紙を教してもらったり学校の話をして帰りました。見守り隊の人が家まで一緒に歩いてくれた日もありました。そのおかげで安全に登下校できました。4年生からは、地域のお母さんが朝も帰りも一緒に歩いてくれました。ありがとうございました。

来年も、また班長は私です。大変なこともあります。地域の人や見守り隊の人に見守ってもらいながら、最高学年として、がんばっていききたいなと思いました。



高野小学校の自まは、今年で 150 周年をむかえることです。ぼくは、はじめ、高野小学校が 150 年も生きているなんて知りませんでした。学校が何かなんて考えたことがなかったからです。

だから、初めて聞いた時は、とてもおどろきました。地域のおじいちゃん、おばあちゃんもぼくと同じ高野小学校に通っていたと考えたら、なんだか素敵だと思います。そんな歴史のある学校に通って、うれしく思います。この学校がもっと長く続いてほしいと思います。



5・6年生の美しいハーモニーが会場を彩りました。



↑ 全校児童の作文を文集としてまとめました。

→
カンフォーラーには、懐かしい写真などを展示しました。皆さん思い出話に花が咲いたようです。



皆様からいただいた感想より

- 150 周年と言う節目に立ち会うことができ、親も子も共に貴重な経験になりました。自分の母校について知り、考える機会になり良かったと思います。子どもたちの作文も、成長を感じることができて良かったです。
- 私の母校である高野小学校も 150 周年を迎え、自分の時代はこうだったのかな、昔お世話になった先生を思い出し、胸が熱くなりました。今、我が子が通うことになり、当時、私が自慢に思っていた高野小学校のいいところを、現代の子どもたちも同じように思っていると知れてとてもうれしかったです。式典にも出席でき、これから続く高野小学校の歩みを近くで見たいなと思いました。
- 学校のお誕生日を祝うすきな集会でした。アルバム・写真コーナーで、つい長居してしまいました。

第20回高野子どもまつり

創立150周年記念集会と同じ日に、高野地域子育て支援協議会の皆様による「高野子どもまつり」をお世話になりました。この活動も今年で20回目となり、歴史を重ねてきました。当日は、各コーナーで子どもたちの弾ける笑顔と保護者や地域の皆様の楽しそうな声が溢れ、本当に心温まる時間となりました。子どもたちがこのような温かな愛情の中で包み込まれるようにはぐくんでいただいていることに改めて感謝申し上げます。準備から運営、後片付けに至るまでご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



人権旬間(11月20日～12月8日)

日頃から大切にしなければならない「人権を守ろう。」という気持ちや姿勢。この期間には、さらに重点的に学習や活動を行い、「自分を大切にすること、周りのみんなを大切にすること」について考えました。多様性が重視される現代において、あらゆる人々と一緒に幸せに暮らしていけるための力をはぐくんでいかなければいけません。この旬間での取組は、あくまでもその一つです。人権を大切にするという感性は、いつでも、どこでも、いつまでも学び続け、そして磨き続けてほしいと思います。



児童の振り返りより

- わたしも強く言ったりしてしまうので気を付けたいし、ケンカのきっかけになることもあったから、「相手を思いやる」とはどういうことだろう」の意味が分かった気がします。
- 人権旬間の時に友達を大切にすると、自分の中でもケンカはなくなったし、友達と仲良くできてうれしかったです。相手を傷つけないことや自分がされたり言われたりすると嫌な気持ちになることを言わないことが大切だと思います。

放置竹林のお話(竹とうろう作り)

野村寺にお住いの平野光雄様にお世話になり、環境問題となっている放置竹林についてのお話をいただきました。人々の暮らしと自然との共生を図るためには、手入れをしていく必要がある竹林。平野さんたちは、その問題解決のために伸びすぎた竹の伐採を行い、その竹材を活用して様々な活動をされています。今回、子どもたちも竹筒に文字やイラストを描き、阪神淡路大震災の慰霊式に並べる灯籠を作らせていただきました。



高野っ子のがんばり

☆第12回子ども読書 本のしおりコンテスト

佳作 2年
佳作 4年
佳作 4年
佳作 4年



第24回絵で伝えよう「わたしの町のたからもの」絵画展

優秀賞 6年

第25回「地球社会に生きる」作文

優良賞 6年

優良賞 6年

「木を守っていこう」
「未来のために」

小中一貫教育のコーナー 城南中学校区教育目標 ～つながり、挑戦する児童生徒の育成～

12月1日 第2回城南中学校区一斉あいさつ運動

今年度2回目の一斉あいさつ運動をお世話になりました。厳しい寒さの中でしたが、多くの子どもたちが元気いっぱい挨拶をすることができました。挨拶することの心地よさが感じられる時間となりました。朝からご協力いただいた皆様ありがとうございました。冬休み期間にも、家庭内、また地域で元気に挨拶ができますよう、今後もよろしくお願いいたします。

